

平成30年司法試験 合格体験記

平成27年度修了（未修コース）山根 愛

10 期末修の山根愛と申します。島根大学法文学部を卒業した後、岡山大学法科大学院に入学・修了し、なんとか3回目の司法試験で合格することができました。そこで、今後受験される方の参考になればと思い、今回の受験と、それまでの学習の違いについて述べさせていただきます。

まず、ロースクール在学中は、学部で法律中心の勉強をしていなかったため、授業の予習復習や期末試験などに追われており、基礎知識の習得の合間に論文練習をしていました。

修了後は、友人とゼミを組むなどして多くの答案練習をして、先生や合格者の方々に添削をしていただきました。たくさん答案を提出しても、嫌な顔ひとつせずレジュメを作るなどして丁寧に教えて下さって、本当に有り難いことでした。この答案練習と添削によって文章能力が培われたのではないかと思います。

3回目の受験時には、答案作成の前に、もう一度過去問を分析し直す必要があるのではないかと思います、分析し直しました。具体的には、一応の水準で求められていることを細かく分解し、どこまでの答案が求められているのか、また、優秀や良好の答案ではどうか、ということを見直し、合格水準を把握しました。その上で、自分に足りないものを埋めるため、ひたすら旧司法試験の演習問題を解きました。この勉強方法を実践する際、私は、各科目1冊を決め、短期間に繰り返し解くということを心掛けました。人間は忘れやすい生き物だからです。なお、3回目の受験時は、新たに演習のために本を買い足すということはずせず、それまでに使用していた本を使用していました。

このように振り返ってみると、3回目受験時には自分なりの合格水準を明確にできたことは合格の要因の1つだったと思います。しかし、それだけで合格したのではなく、それまでのロースクールでの授業や先生や合格者の方々に答案添削・指導をして頂いたことが土台となり、合格に結びついたのではないかと思います。

最後になりますが、丁寧に指導して下さった先生方と先輩方、学習環境を整えて下さった職員の方々、支えてくれた家族や友人達に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。